

美人画家・市場大介のドローイング『BADA』をデザインした新作レギンス
2種をプロデュース、オンラインショップなどで販売開始



根本敬〈自家〉アパレルブランド『家作 (casa-cue)』は、カルト的人気を誇る市場大介のドローイング『BADA』を商品化したレギンス 2種類 (デジタル、サイコ) をプロデュース。このほどオンラインショップなどを通じて販売を開始しました。

独特な絵柄とストーリーでカルト的人気を誇る“特殊漫画家”の根本敬〈自家〉アパレルブランド『家作 (casa-cue)』を運営する株式会社家作は、独特の少女画・美人画作品でカルト的人気を誇る市場大介のドローイングをデザインしたレギンス 2種をプロデュース。昨年 12 月 30 日から『家作 (casa-cue)』のウェブサイトなどで販売を開始しました。

▼家作 (casa-cue) : <http://casa-cue.com>

■カルト的人気を誇る市場大介のドローイングをレギンスに

市場大介は独特な表情を持つ少女画・美人画作品で、日本はもちろん海外でも人気のあるオルタナティブ・アーティストです。『家作 (casa-cue)』ではこれまで根本敬自身の作品に基づいたアイテムをはじめ、蛭子能収の初期作品をイメージしたバレエシューズなどをプロデュースし、販売してきました。

今回、市場大介のドローイング集からモダンなイメージの『BADA デジタル』、クラシカルな雰囲気のある『BADA サイコ』の 2 つをレギンスとして商品化。20 代半ばから 30 代後半までの女性をターゲットに、インパクトあるファッションを提案する『家作 (casa-cue)』のラインナップにふさわしいアイテムとなりました。

■日本発の高品質なアールブリュット作品を世界へも

『家作 (casa-cue)』は 28~38 歳の女性をターゲットに、日本のアールブリュット作家やオルタナティブ・アーティストの作品、サブカルチャーシーンを取り入れたアパレルブランドを展開。大胆で個性的なデザインはもちろん、すべて「Made in Japan」にこだわったクオリティの高さも大きな特徴です。

現在、市場大介が世に送り出したキャラクター「池袋ちゃん」をモチーフにしたレギンスやスウェットなどの商品化も企画中。今後、フランスの「Le Dernier Cri (LDC)」などを通じて海外へ向けても日本独特のアートや文化を取り入れた商品の PR・販売を進めていく予定です。

【商品概要】

商品名：ICHIBAdaisuke BADA レギンス (デジタル、サイコ)

販売価格：3,800 円 (税別)

サイズ：フリーサイズ

・身長 150~165cm ・ヒップ (約) 85~98cm ・置き寸 (約) 65cm

製造：日本

素材：ポリエステル 91%、ポリウレタン 9%

【株式会社家作について】

本社：神奈川県川崎市中原区

代表：根本 敬

設立：2014 年 7 月 3 日

URL：<http://casa-cue.com/>

事業内容：特色あるデザインを施したアパレル商品の企画・制作・販売

【本件に関するお問い合わせ先】

企業名：株式会社家作

担当者名：塚元香名

TEL：080-5499-7338

Email：casa.cue.004@gmail.com